

福岡県民の プロスポーツチーム 関心度

福岡県居住者の「プロスポーツチーム」に
関する調査

2024年8月

1. 調査方法

当社アンケートモニター「コムネット」登録者に対するインターネット調査

2. 調査対象

福岡県在住の20歳～79歳の男女

3. 調査時期

2024年7月5日（金）～7月12日（金）

4. 調査規模

429サンプル

【標本構成】

■性	件数	構成比(%)
男性	165	38.5
女性	264	61.5
全体	429	100.0

■年代	件数	構成比(%)
20代	10	2.3
30代	81	18.9
40代	83	19.3
50代	92	21.4
60代	103	24.0
70代	60	14.0
全体	429	100.0

■居住地	件数	構成比(%)
福岡市	237	55.2
福岡市以外都市圏	90	21.0
その他福岡県	102	23.8
全体	429	100.0

■職業	件数	構成比(%)
会社員	109	25.4
公務員	13	3.0
団体職員・病院勤務	10	2.3
経営者・会社役員	9	2.1
派遣社員・契約社員	32	7.5
商工自営	18	4.2
農林漁業	0	0.0
自由業	11	2.6
学生	2	0.5
パート・アルバイト	77	17.9
専業主婦(主夫)	90	21.0
無職	57	13.3
その他	1	0.2
全体	429	100.0

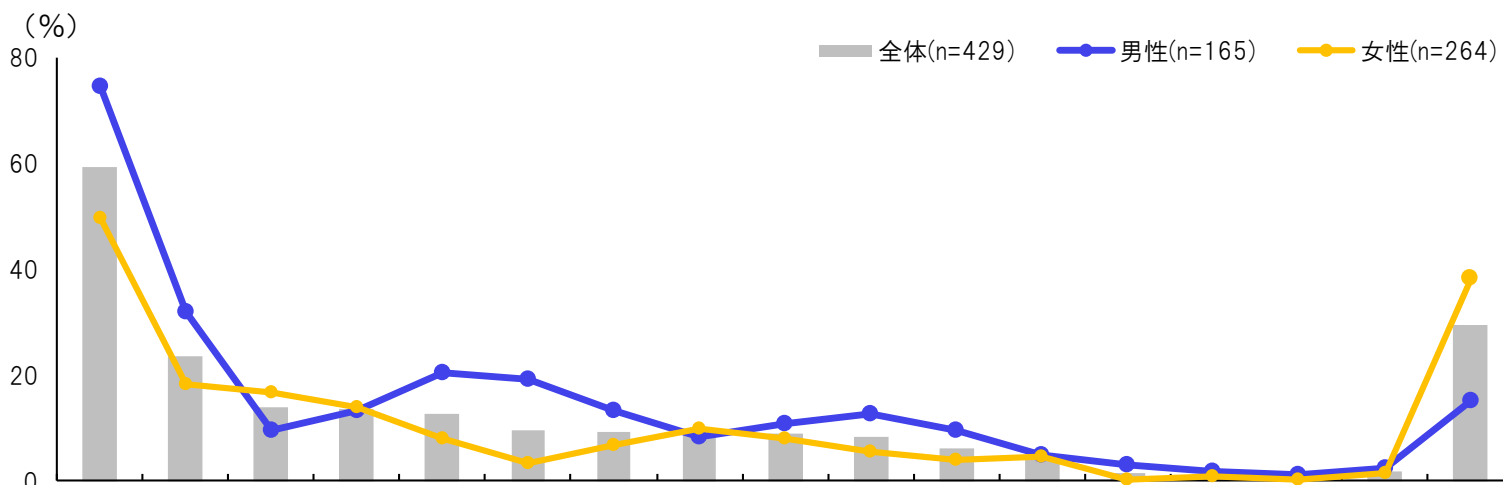
■ライフステージ	件数	構成比(%)
独身(離死別含む)	112	26.1
既婚で末子に小学生以下の子ども	75	17.5
既婚で末子に中学生以上の子ども	55	12.8
既婚(子育て終了)	141	32.9
既婚で子どもなし	46	10.7
全体	429	100.0

【報告書の見方】

- ・本文及び図中に示した調査結果の数値は小数点以下第2位を四捨五入しているため、全項目の回答比率の合計が100.0%とならない場合や合計値に誤差が生じる場合がある。
- ・複数の回答を求めた質問では、回答比率の合計が100.0%を超えることがある。
- ・報告書中の図表では、コンピューター入力の都合上、回答選択肢の表現を短縮している場合がある。

- 関心度が高いスポーツは、1位「野球」、2位「サッカー」であった。
- どのスポーツも女性よりも男性の方が関心度が高い傾向にあるが、「バレーボール」は女性の関心度が高い。
- 60代以上は「大相撲」「ゴルフ」の関心が他の層に比べて高いが、「大相撲」は2019年に比べ関心度が低くなった。

◆スポーツ関心度（複数回答）

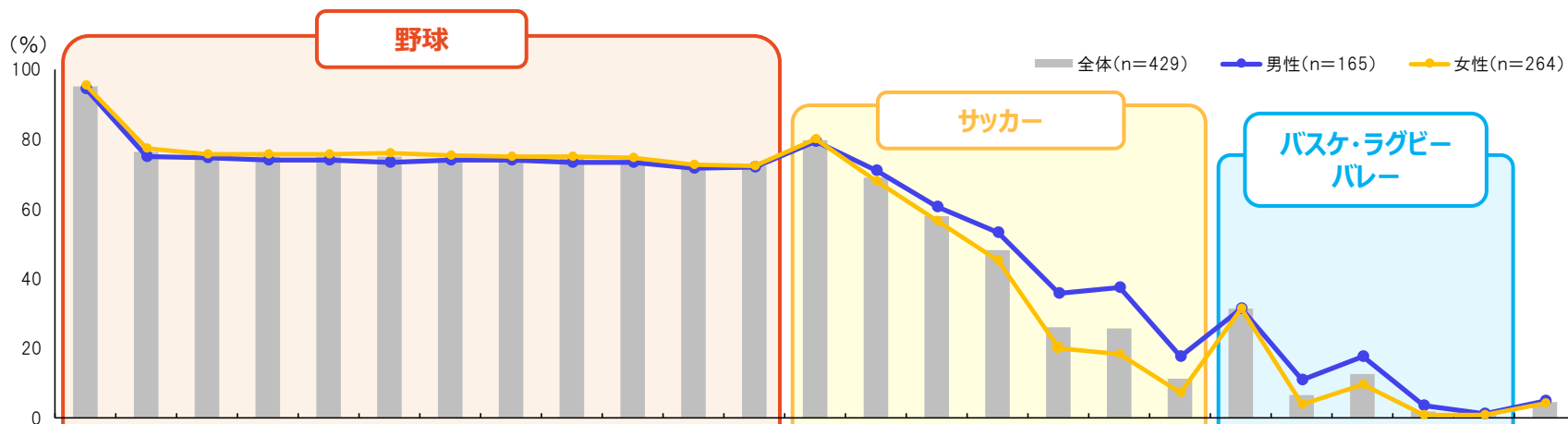


調査数	野球	サッカー	バレーボール	バスケットボール	大相撲	格闘技・プロレス	ラグビー	テニス	卓球	ゴルフ	ソフトボール	バドミントン	フットサル	ハンドボール	アイスホッケー	その他	興味・関心を持っていない	スポーツ関心率		
全体	429	59.2	23.5	14.0	13.8	12.8	9.6	9.3	9.1	8.4	6.3	4.7	1.4	1.2	0.7	1.9	29.4	70.6		
性別	男性	165	74.5	32.1	9.7	13.3	20.6	19.4	13.3	8.5	10.9	12.7	9.7	4.8	3.0	1.8	1.2	2.4	15.2	84.8
	女性	264	49.6	18.2	16.7	14.0	8.0	3.4	6.8	9.8	8.0	5.7	4.2	4.5	0.4	0.8	0.4	1.5	38.3	61.7
年代別	20～30代	91	53.8	18.7	7.7	16.5	5.5	5.5	3.3	6.6	3.3	5.5	3.3	2.2	2.2	1.1	1.1	2.2	34.1	65.9
	40～50代	175	59.4	26.3	14.9	10.9	6.9	7.4	7.4	9.7	10.9	5.7	5.7	5.1	1.1	0.6	0.6	0.6	26.9	73.1
	60代以上	163	62.0	23.3	16.6	15.3	23.3	14.1	14.7	10.4	10.4	12.9	8.6	5.5	1.2	1.8	0.6	3.1	29.4	70.6

* 2019年度調査結果と比較して、+10%は赤網掛け、-10%は青網掛け *スポーツ関心率：「全体」-「興味・関心を持っていない」

- スポーツチームの認知度は、「福岡ソフトバンクホークス」が最も高く95.1%、2位「アビスパ福岡」は79.7%であった。
- 野球は「福岡ソフトバンクホークス」以外の他球団は同水準、サッカーはJ1リーグの「アビスパ福岡」「サガン鳥栖」に続き、北九州にホームを置く「ギラヴァンツ北九州」の順で認知度が高かった。
- 2019年時点でJ1リーグ(現在はJ2)だった「大分トリニータ」は、2019年の調査結果と比較して10%以上認知度を落としている。
- 同じく福岡にホームを置く「ライジングゼファー福岡」は「男性」「40～50代」の認知度が2019年と比較して下がった。

◆プロスポーツチーム認知度（複数回答）

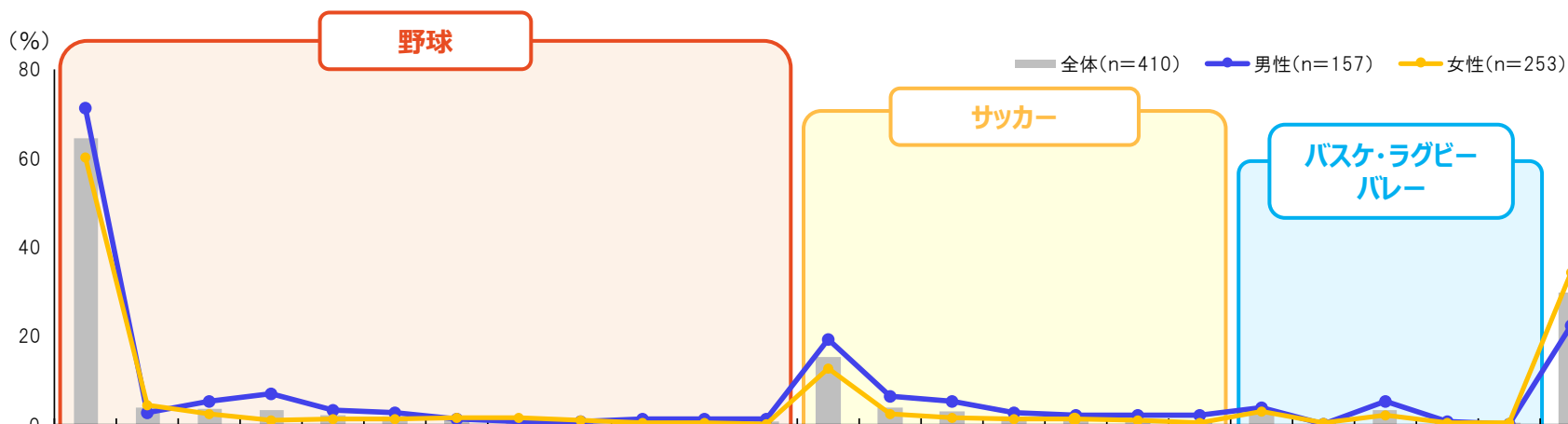


調査数	福岡ソフトバンクホークス	読売ジャイアンツ	東北楽天ゴールデンイーグルス	北海道日本ハムファイターズ	阪神タイガース	広島東洋カープ	埼玉西武ライオンズ	中日ドラゴンズ	千葉ロッテマリーンズ	オリックス・バファローズ	横浜DeNAベイスターズ	東京ヤクルトスワローズ	アビスパ福岡	サガン鳥栖	ギラヴァンツ北九州	大分トリニータ	ロアソン熊本	V・ファアレン長崎	鹿児島ユナイテッドFC	ライジングゼファー福岡	熊本ヴォルターズ	九州電力キューデンヴォルテクス	カノアラウレアーズ福岡	福岡ウイニングスピリッツ	この中に知っているチームはない	
全体	429	95.1	76.5	75.3	75.1	75.1	74.8	74.6	74.4	74.1	72.3	72.3	79.7	69.0	58.0	48.3	26.1	25.6	11.2	31.5	6.5	12.6	1.9	0.9	4.4	
性別																										
男性	165	94.5	75.2	74.5	73.9	73.3	73.9	73.9	73.3	73.3	71.5	72.1	79.4	70.9	60.6	53.3	35.8	37.6	17.6	31.5	10.9	17.6	3.6	1.2	4.8	
女性	264	95.5	77.3	75.8	75.8	76.1	75.4	75.0	75.0	74.6	72.7	72.3	79.9	67.8	56.4	45.1	20.1	18.2	7.2	31.4	3.8	9.5	0.8	0.8	4.2	
年代別																										
20～30代	91	95.6	75.8	73.6	72.5	71.4	74.7	73.6	72.5	71.4	72.5	70.3	69.2	76.9	63.7	53.8	20.9	20.9	13.2	31.9	7.7	3.3	1.1	1.1	4.4	
40～50代	175	94.3	77.7	78.3	77.1	77.1	76.6	76.6	77.1	76.6	75.4	76.6	81.1	72.6	61.1	56.0	32.0	30.9	14.3	38.9	8.6	16.0	2.9	0.6	4.6	
60代以上	163	95.7	75.5	73.0	74.2	74.8	73.6	73.6	73.0	72.4	69.9	69.3	79.8	68.1	57.1	46.0	22.7	22.7	6.7	23.3	3.7	14.1	1.2	1.2	4.3	

* 2019年度調査結果と比較して、+10%は赤網掛け、-10%は青網掛け

- 応援しているスポーツチームも「福岡ソフトバンクホークス」が最も高く64.4%、2位は「アビスパ福岡」、3位は「ギラヴァンツ北九州」と福岡をホームとするプロスポーツチームが上位を占めた。
- 2019年の調査結果と比較して、「福岡ソフトバンクホークス」で60代以上のファン層が減少した。

◆応援しているプロスポーツチーム（複数回答）



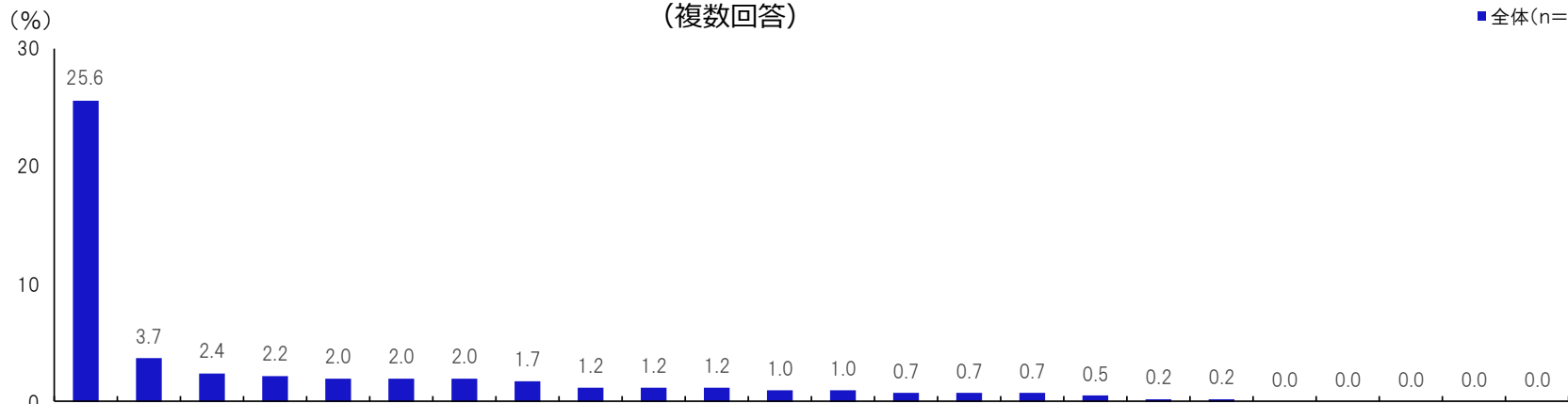
調査数	ホークス	福岡ソフトバンク	ファイターズ	北海道日本ハム	広島東洋カープ	読売ジャイアンツ	阪神タイガース	埼玉西武ライオンズ	東北楽天ゴールデンイーグルス	千葉ロッテマリーンズ	オリックス・バファローズ	中日ドラゴンズ	横浜DeNAベイスターズ	東京ヤクルトスワローズ	アビスパ福岡	ギラヴァンツ北九州	サガン鳥栖	V・ファールン長崎	大分トリニータ	ロアッソ熊本	鹿児島ユナイテッドFC	ライジングゼファー福岡	熊本ヴォルターズ	九州電力キューデンヴォルテクス	カノアラウレアーズ福岡	福岡ウイニングスピリッツ	この中に応援しているチームはない	
全体	410	64.4	3.7	3.4	3.2	2.0	1.7	1.5	1.2	0.7	0.7	0.7	0.7	0.5	15.1	3.9	2.9	1.7	1.5	1.2	1.0	3.2	0.2	3.2	0.5	0.2	29.8	
性別																												
男性	157	71.3	2.5	5.1	7.0	3.2	2.5	1.3	0.6	0.6	1.3	1.3	1.3	1.3	19.1	6.4	5.1	2.5	1.9	1.9	1.9	3.8	0.0	5.1	0.6	0.0	22.3	
女性	253	60.1	4.3	2.4	0.8	1.2	1.2	1.6	1.6	0.8	0.4	0.4	0.4	0.0	12.6	2.4	1.6	1.2	1.2	0.8	0.4	2.8	0.4	2.0	0.4	0.4	34.4	
年代別																												
20~30代	87	66.7	2.3	2.3	2.3	0.0	1.1	0.0	1.1	0.0	1.1	0.0	0.0	0.0	13.8	3.4	2.3	3.4	2.3	1.1	1.1	3.4	1.1	1.1	1.1	1.1	27.6	
40~50代	167	65.3	3.0	4.2	3.6	2.4	1.2	2.4	1.2	0.6	0.0	1.2	0.0	0.0	13.8	1.2	1.8	0.0	0.0	0.6	0.6	1.8	0.0	3.6	0.6	0.0	28.7	
60代以上	156	62.2	5.1	3.2	3.2	2.6	2.6	1.3	1.3	1.3	1.3	0.6	1.3	1.3	17.3	7.1	4.5	2.6	2.6	1.9	1.3	4.5	0.0	3.8	0.0	0.0	32.1	

* 2019年度調査結果と比較して、+10%は赤網掛け、-10%は青網掛け

- 直近1年間の現地試合観戦経験は「福岡ソフトバンクホークス」が25.6%と突出して高く、福岡県民の4人1人が現地で試合観戦をしている。
- それ以外のチームは観戦経験がほとんどない。

◆直近1年間に現地で試合観戦をしたことがあるプロスポーツチーム (複数回答)

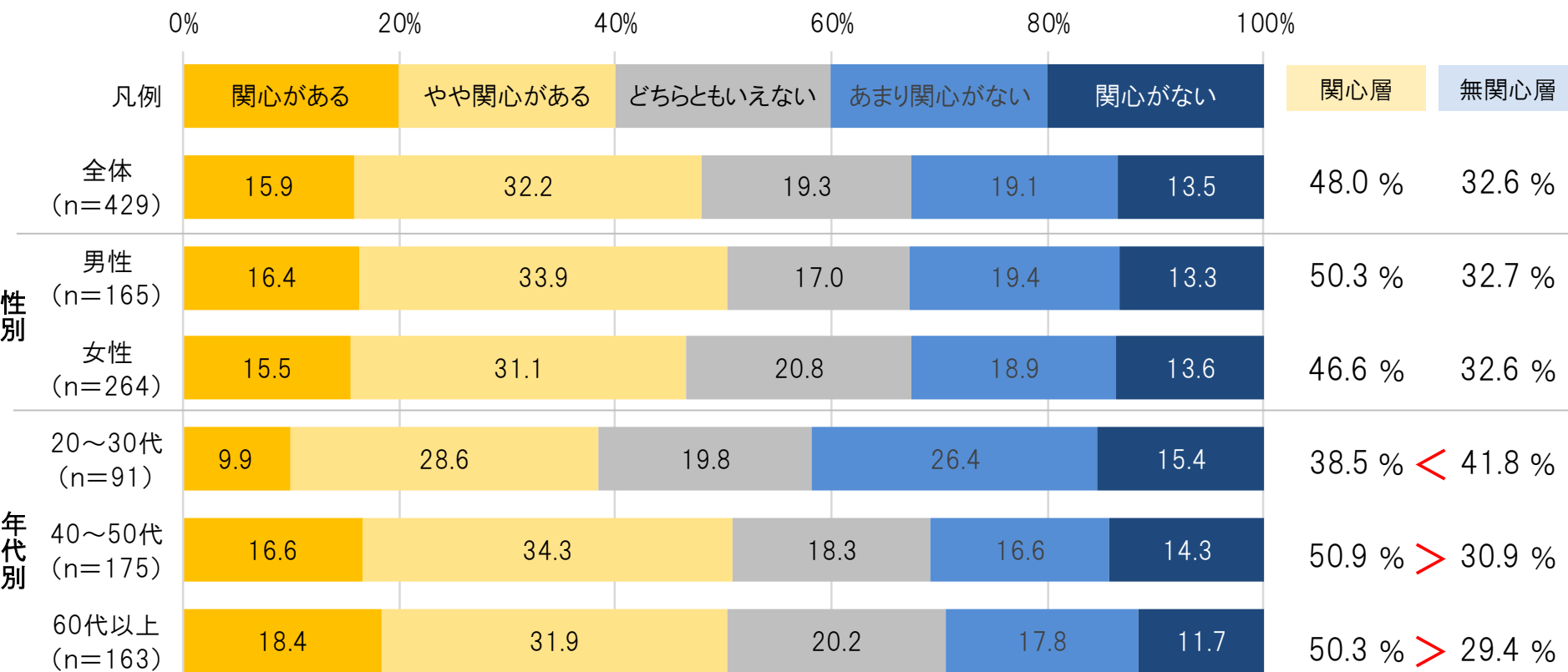
■全体(n=410)



調査数		ホークス	アビスパ福岡	北海道日本ハム	東北楽天ゴールデンイーグルス	千葉ロッテマリーンズ	埼玉西武ライオンズ	オリックス・バファローズ	ライジングゼファーフ岡	横浜DeNAベイスターズ	広島東洋カープ	九州電力キューデンヴォルテクス	阪神タイガース	東京ヤクルトスワローズ	読売ジャイアンツ	中日ドラゴンズ	サガン鳥栖	ギラヴァンツ北九州	ロアッソ熊本	カノアラウレアーズ福岡	大分トリニータ	V・ファアレン長崎	鹿児島ユナイテッドFC	熊本ヴォルターズ	福岡ウイングスピリッツ	現地で試合観戦したことがない	
全体	410	25.6	3.7	2.4	2.2	2.0	2.0	2.0	1.7	1.2	1.2	1.2	1.0	1.0	0.7	0.7	0.7	0.5	0.2	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	72.4
性別	男性	157	26.1	4.5	3.2	3.8	2.5	3.2	2.5	2.5	1.9	3.2	1.9	1.3	1.9	1.3	1.3	1.3	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	70.1
	女性	253	25.3	3.2	2.0	1.2	1.6	1.2	1.6	1.2	0.8	0.0	0.8	0.4	0.8	0.0	0.4	0.4	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	73.9
年代別	20~30代	87	28.7	5.7	1.1	2.3	0.0	1.1	2.3	0.0	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1	0.0	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	71.3
	40~50代	167	28.7	3.6	3.0	3.0	3.0	2.4	3.0	1.2	2.4	1.2	1.2	1.8	1.2	1.2	0.6	0.0	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	68.3	
	60代以上	156	20.5	2.6	2.6	1.3	1.9	1.9	1.3	1.9	0.6	1.3	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	77.6	

- パリオリンピックへの関心は、約半数が関心層という結果であった。
- 20～30代は他の年代と比較して、無関心層の割合が関心層を上回っている。

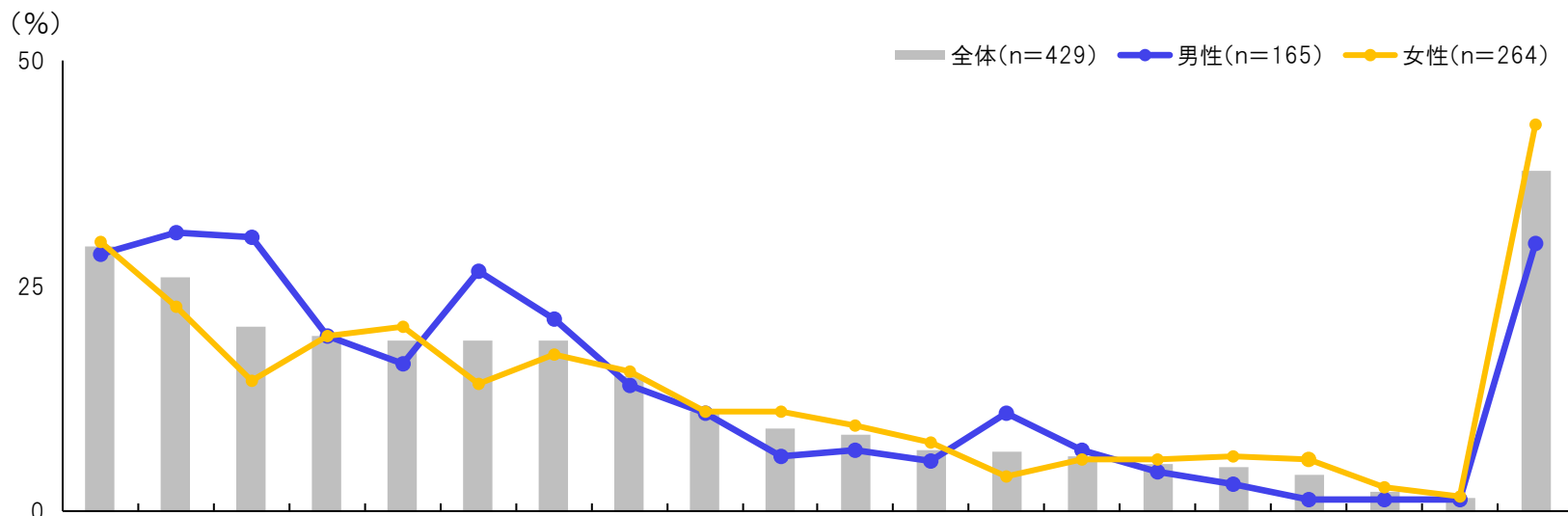
◆パリオリンピック関心度（単一回答）



6. パリオリンピック注目競技

- 注目競技 1位は「バレーボール」、2位「陸上競技」、3位「サッカー」であった。
- 男性は女性と比較し「サッカー」「柔道」への注目度が高い。
- 60代以上は「陸上競技」「柔道」「体操競技」の注目度が高く、「陸上競技」「卓球」は年代が上がるにつれ注目度が高くなる。

◆パリオリンピック注目競技（複数回答）



調査数		バレーボール	陸上競技	サッカー	バスケットボール	競泳	柔道	卓球	体操競技	バドミントン	テニス	スケートボード	クライミング	ゴルフ	7人制ラグビー	レスリング	フェンシング	サーフィン	リフティング	ウエイト	その他	注目していない
全体	429	29.4	25.9	20.5	19.3	18.9	18.9	18.9	14.9	11.0	9.1	8.4	6.8	6.5	6.1	5.1	4.9	4.0	2.1	1.4	37.8	
性別	男性	165	28.5	30.9	30.3	19.4	16.4	26.7	21.2	13.9	10.9	6.1	6.7	5.5	10.9	6.7	4.2	3.0	1.2	1.2	1.2	29.7
	女性	264	29.9	22.7	14.4	19.3	20.5	14.0	17.4	15.5	11.0	11.0	9.5	7.6	3.8	5.7	5.7	6.1	5.7	2.7	1.5	42.8
年代別	20～30代	91	19.8	13.2	12.1	14.3	11.0	8.8	7.7	5.5	4.4	5.5	4.4	2.2	3.3	5.5	2.2	1.1	2.2	1.1	1.1	48.4
	40～50代	175	29.7	21.7	26.3	18.9	16.6	13.1	18.9	8.0	12.6	9.7	8.6	6.3	4.6	2.9	3.4	6.3	1.7	1.1	1.1	33.7
	60代以上	163	34.4	37.4	19.0	22.7	25.8	30.7	25.2	27.6	12.9	10.4	9.2	7.4	8.6	8.0	9.2	8.6	2.5	3.1	1.8	36.2

マーケティングリサーチからコンサルティングまで 福岡・九州の生活者マーケティングは、株式会社ジーコム

1986年の創業以来、35年以上福岡・九州で
「マーケティング・リサーチ」と「ビジネスコンサルティング」の専門会社として、
顧客視点に基づく科学的なアプローチによつて的確な課題解決策を導き出し、
マーケティングサポートを行っています。

発行元：株式会社ジーコム

福岡市中央区天神4-1-1 第7明星ビル7F

TEL 092-761-0221 FAX 092-761-0228

<https://www.gcom-net.co.jp/>

inq@gcom-net.co.jp